

(本 社)	甲府市増坪町74	TEL055-241-3151	FAX055-241-8530
(営業所)	上野原市新田661	TEL0554-62-3321	FAX0554-62-3322

4月になり、新しい事をスタートされた方が多いと思います。日に日に暖かい日も増えて来ていますが、寒暖の差もありますし花粉症や、コロナウイルスなどもありますので体調管理には気を付けていただきたいと思います。さて今回はオブジェや芸術品などに多く使用されている、コルテン鋼（耐候性鋼）についてお知らせしたいと思います。 山田

＜編集者＞  
塚原 佳由  
望月 博隆  
小林 龍也  
寸松 貴  
赤木 健三  
山田 幸平



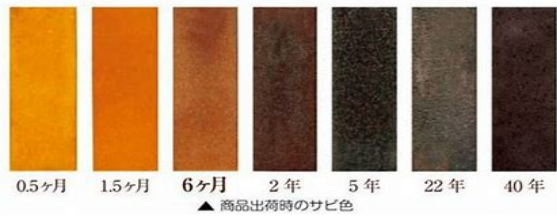
## 鋼種 Q & A～コルテン鋼について～

コルテン鋼（耐候性鋼）とは、普通鋼にリン、クロム、ニッケル、シリコン等の合金元素を入れた耐候性の高い特殊鋼材です。また、コルテン鋼は錆びない…と言われていますが錆びます。しかし、発生する錆び自体が通常、鉄などから発生する錆びとは構成が異なり、ある程度の錆が発生した状態の被膜が鋼材と密着し、それ以上の腐食が進みにくくなるという事です。表面は錆びるけど、表面の錆の被膜がコーティングの役割になり内部までは錆びにくいというイメージになると思います。しかし、海水は保護性錆層を破壊するイオンを含んでいるため海岸部ではコルテン鋼であっても無塗装で使用する事は控えたほうが良い様です。コルテン鋼が主に使われるのは製造業ではなく建築物や、鉄橋、芸術家さんなどの作品で使用されることが多い様です。コルテン鋼の錆は経年変化により刻々と表情を変えていきます。最初の頃は錆色ですがだんだんと黒がかかった錆色へと変化していき落ち着いた雰囲気が出てきます。しかし、錆が出るという事は、当然流れ錆が出てくるためその周りに流れたり舞ったりしてしまうため、注意も必要です

- 塗装性・・・装膜寿命が長く再塗装費用の節約になります。また、そのままの素材を楽しむため塗装をしない事も多く費用の節約にもなります。
- 溶接性・・・溶接性は良いとされています。また、薄材にはスポット溶接も可能です。
- 加工性・・・冷間加工熱間加工、ガス切断など同一強度レベルの普通鋼とほぼ同等に使用できます。



さびの外観経年変化



★社長のワンポイント★世間がコロナウイルスのワクチン接種という段階に入り、山梨県各市町村も具体的な日程・工程を公開し医療従事者の方々もほとんど接種が終わりつつあります。昨年の今頃は志村けんさんがお亡くなりになり、衝撃的なニュースが連日連夜入ってきた事が思い出されます。いよいよ21日緊急事態宣言解除後の経済の動き。withコロナ対応で全ての業界が対応に迫られているのが現状。製造業もその関係の物づくりの会社は、空気清浄機・アルコール除菌専用台・除菌ステンレスケース・極低温冷蔵庫・・・今まで市場に無かったものが必需品となって世の中に出ています。モノを創り出していくという私達の製造業は、世の中にお役に立つという視点で考えれば、無限大にネタはある業界です。車内のエアコンシステムも「除菌」というキーワードで変化して、また室内でも今まで冷暖房という用途しか無かったものが、ウイルス「除去」という機能が付いて販売がされています。現状の製品に『プラス』することで新たな製品が出来上がる。ものづくりの醍醐味であると・・・目線・視点を変えて旧式的生活様式を何か『プラス』する。何か市場をワクワクさせるものが出てくると期待しつつ、当社でもお客様にワクワクさせる提案がしっかり出来るよう、全社あげて取り組んで参ります。

★国中エリア 塚原★3月21日で緊急事態宣言が解除となりましたが、手洗いやうがいなど出来る事は引き続き行ってください。3月国中エリアの状況ですが、半導体関連では動きは良いものの1次下請け以外での動きが今一つ思わしくない所もあるようですが状況は良くなっていくようです。車、トラック関係では、増産していくとの話で、すでにフル稼働になっている企業もあります。切削機械メーカーでは動き出すにはもう少し時間が掛るとの話を聞いています。今後もしっかりとアンテナを高くして皆様に旬な情報をお届けしたいと思います。

★郡内エリア 望月★新年度を迎える月となりました。桜の開花も早くこれからの経済も咲いていただければ良いと思う所です。郡内の状況ですが、工作機械関係は相変わらず好調をキープしております。半導体関係も仕事量はあり、増えもせず減りもせずと言った感じだそうです。自動車関連は、自動車半導体不足の影響が出ており減産するメーカーがあるそうです。トラック関係ではメーカーごとにひらきがあり生産数に影響があるそうです。今、仕事が出てきている共通点は海外からの仕事であることです。国内は冷ややかであり厳しい状況です。それによって仕事量の格差が出てきております。4月に入りどう動いていくのか注意深く見ていきたいと思います。

★上野原エリア 山田★4月に入り新しい事が何かと多い季節ですが、製造業では依然として厳しい状況が多いと感じています。上野原エリアでは半導体関係は、増減があるものの仕事自体はあるようです。しかし、同じ半導体関係でも差が大きく出ている事も事実です。4月以降のお話でも増加傾向と聞く事もありますし、5月以降が未定とのお話も出ているため、一概に好調とは言えないようです。トラック関係は試作の仕事が出て来ているようですが、単価競争、納期競争が激しく仕事の取り合いも依然として多いとの事でした。その他の業種でも仕事量が増加傾向にあるようですが、先が見通せない業種が多い様に感じています。緊急事態宣言も解除になり、オリンピック開催も日々近づいて来ています。今後の動向が非常に気になる所です。しっかりと情報収集していきたいと思